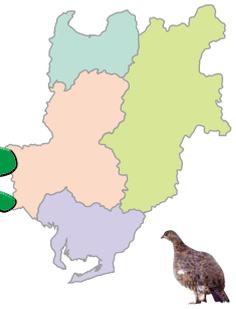




国民の森林・国有林

広報

中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

ニホンジカから
高山植物を守る取組



民有林と連携し
木材の供給体制を整備

平成25年度中部森林管理局事業概要を公表

公益重視の管理経営と、森林・林業の再生に向けた各種取組を推進します

(P 2～4 に関連記事)

主な項目	○ 平成25年度中部森林管理局事業概要を公表 …………… P 2～4
	○ 各地からのたより …………… P 4～9
	○ シリーズ「森林官からの便り」 …………… P 9
	○ ご当地自慢 …………… P 10



五月二十七日・二十八日に局及び名古屋事務所において平成二十五年度中部森林管理局の事業概要について、記者発表を行いました。

局管内の国有林の分布や資源状況等を踏まえ以下に主眼を置いて管理経営を行うこととしています。

一 公益重視の管理経営の一層の推進

国土保全・水源涵養・地球温暖化の防止等に果たす国有林野の役割や国民の期待等を踏まえ、森林の公益的機能の持続的発揮に取り組みます。

重点事項として四つの取組を推進します。

(一) 人工林の間伐等の森林整備の推進

山地災害の防止や水源涵養機能の発揮、地球温暖化防止等の公益的機能を維持・増進するため、人工林の間伐等の森林整備を着実に実施するとともに、長期化、針広混交林化など多様な森林づくりを推進します。

(二) 生物多様性保全の推進

奥地脊梁山地等を中心に森林生態系の生物多様性を保全するため、保護林等の適切な保全管理を進めるとともに、高山



人工林間伐直後の様子

植物保護活動や、自然再生事業を実施します。

○木曽地方の温帯性針葉樹林の取扱いの検討

木曽地方では、木曽ヒノキを中心に良質な木材が産出され、古くから伝統的建造物や地場産業の用材として活用されてきました。また、温帯性針葉樹林がまつまつて自然度の高い状態を構成している地域は世界的に貴重なものとされています。

このため、木曽地方の温帯性針葉樹林の貴重性や地域振興に果たしてきた役割を踏まえ、保護林だけでなく多角的な視点からのゾーニングとその森林の取扱いを検討します。



木曽ヒノキ林 (木曽署)

○高山植物保護の実施

立山や御嶽山など管内百名山を中心とするグリーンサポートスタッフ(GSS)等による高山植物保護のための巡視を行います。また、山火事や廃棄物の不法投棄等の未然防止のため森林官等による国有林野巡視を行います。

○自然再生事業の実施

木曽駒ヶ岳や雲ノ平における高山植物の復元活動や長野県西部地震災害復旧地における自然再生事業を、NPOやボラ



木曽駒ヶ岳植生復元作業の様子

ンティア等と連携して実施します。

(三) 地域関係者や民有林との一層の連携
国民の方々や民有林関係者との双方の情報等の受発信により、透明性が高い国有林野の管理経営を進めます。

○森林計画の策定における地域に根ざした幅広い情報等の反映
森林計画の策定に当たり、国有林の森林資源や整備状況、利活用等に関する情報を広く提供するとともに、地域の方々の懇談会や現地見学会の開催、ホームページ等による意見募集を実施し、地域に根ざした幅広い情報や要請を森林計画に反映させるよう取り組みます。

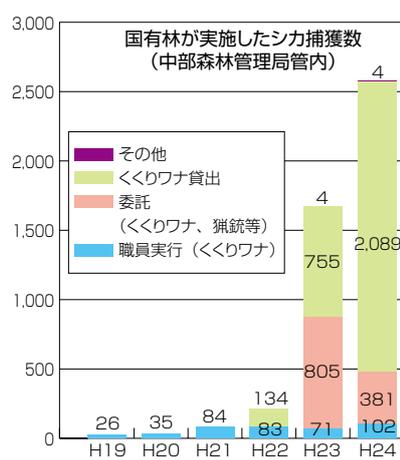
○信州大学農学部との連携・協力協定の締結

生物多様性保全等のための人材育成等を目的に、平成二十二年三月から信州大学農学部と三ヶ年の協定を締結していましたが、平成二十五年度からは連携・協力する分野を、生物多様性保全などの森林の公益的機能発揮のみならず、森林資源の有効利用、森林・林業の再生に向けた取組まで含めた新たな連携・協力協定として締結し、さらなる協力を推し進めます。

○二ホンジカ被害対策

二ホンジカによる被害の発生が懸念される地域において、捕獲による個体数調整等を、各地域のシカ被害対策協議会等との協働により実施します。また、農政とも連携した広域な個体数調整(囲いワ

ナや新たな捕獲網などの設置等)に取り組みます。



○(四) 安全・安心な国土基盤づくり

○治山事業の着実な推進
災害に強い健全な森林づくりを進めるとともに、集中豪雨や地震等により発生した緊急性の高い崩壊地等を平成二十四年度補正予算及び平成二十五年度予算により早期に復旧し、下流への被害を未然に防止します。

また、工事实施に当たっては生物多様性の配慮や木材利用を推進するとともに、地域の特性に応じた治山事業の検討を進めます。

○民有林直轄治山事業の実施

民有林においても、災害復旧事業の規模が大きい場合や特に高度な技術が必要とする場合は、県からの要請に応じて治山事業を実施します。

○災害発生時の迅速な状況把握・復旧対策の実施

大規模災害発生時は、民有林とも連携

して、ヘリコプターの活用等による、調査や応急対策、復旧計画の策定、復旧事業の実施など迅速に対応します。



生物多様性に配慮した溪間工

二 森林・林業の再生への貢献

森林・林業の再生に向け、間伐材等の生産コストの低減、木材の安定供給や需要開発、施業の大規模化の支援等の取組やこれらを担う人材の育成を推進します。

重点事項として七つの取組を推進します。

(一) 森林施業を通じて

得られる木材生産と供給

森林の公益的機能の発揮と森林・林業の再生を図るため、森林整備の結果得られる木材を林道等の路網整備等を通じて低コストで生産・販売し、木材の安定供給に努めます。



薪生産現場

(二) 低コスト作業システムの普及の定着

国有林の森林整備事業において実施する低コスト作業システムについて、広く普及・定着するため、関係者にその効果を広く普及します。



コンテナ苗

(三) 需要に即した木材供給の取組

木材需要の一層の拡大を図るため、需要情報を的確に把握し、需要に即した木材の規格(直径、長さ)を揃えて安定的に供給します。

また、人工林材のブランド化を進める取組を実施します。さらに、カラマツの軟弱地盤改良材としての利用の推進や安定供給、薪の需要と供給のマッチング等を図るセミナーの開催による薪の需要拡大等に取り組みます。

マルコウ マルコク 木曾ひのき

高 国 木曾ひのき

だんど サン

段戸 SAN

人工林ひのき材ブランド名
(上段が長野県木曾地域、
下段が愛知県段戸国有林)

(四) 林業事業者の育成

事業の発注に当たり、民間の林業事業者の創意工夫を活用できる総合評価落札方式を引き続き適用するとともに、中部森林管理局が発注する事業量の見通しに関する情報を積極的に発信します。

(五) 森林施業の集約化の推進

民有林と国有林が連携して、森林の有する多面的機能の持続的発揮、木材の安



森林資源循環利用構想策定演習の様子

定供給の推進等を目的に「森林整備推進協定」を締結し、民有林と国有林が一体となつて森林の整備や木材の共同販売等に取り組みます。

(六) 技術開発の推進

民有林経営や森林整備・保全に関する技術や手法の普及を念頭に、低コスト造林手法の開発や、国産材コンクリート型桝合板を用いた治山事業など、国有林の事業実行において実証等の取組を行います。

(七) 森林・林業技術者の育成

国有林のフィールドや技術力を活用し、森林・林業行政を支援する准フォレストラーや林業専攻道を適切に設計できる技術者を育成する研修を実施します。

また、大学等と連携し、将来の森林・林業技術者の育成に向けた取組も実施し



赤沢自然休養林での森林浴の様子

ます。さらに国有林の技術者が、県の指導普及員とともに、市町村の森林・林業行政の支援を行います。

三 山村地域の振興と森林の総合利用

森林整備や木材供給を通じた雇用創出等で山村地域の振興に貢献するとともに、地域との連携の下、国民の皆さんが森林とふれあう場等の整備・提供などを通じて、森林の保健・文化・教育的利用の推進に努めます。

重点事項として二つの取組を推進します。

(一) 森林とのふれあいの場の提供

自然休養林等のレクリエーションの森をより広く国民の方々に利用していただきながら、地域の振興に寄与するための取組を地元関係者と連携しながら実施します。

なお、平成二十五年度中部森林管理局事業概要につきましては、HPに掲載しておりますので、詳細についてはそちらをご覧ください。

URL
<http://www.rinyanafu.go.jp/chubu/>



「裏木曾古事の森」で下刈作業の様子

(二) 森林づくり活動等のフィールド提供

森林づくりや社会貢献活動等の需要に応えるため、「ふれあいの森」や「遊々の森」など『国民参加の森林づくり』のためのフィールドを提供するとともに、林業体験活動などへの技術支援も行います。

各地からのたより

**信大農学部との連携と協力に
関する協定が締結される**

〔企画調整課〕平成二十五年五月二十一日、信州大学農学部ゆりの木研修室において、「中部森林管理局と信州大学農学部との連携と協力に関する協定書」が、信大農学部中村学部長と鈴木局長との間で、調印・締結されました。

信大農学部との間では、平成二十二年三月に締結した「日本アルプス等の森林における生物多様性保全等のために必要な人材育成等に関する協定書」に基づき、これまで①研修講師の依頼②調査・技術開発として野生鳥獣による森林被害対策③各種会議での指導助言等の分野で連携を図ってきました。

今回の協定では、前協定の有効期間(三カ年)満了を機にその内容について発展的に見直し、生物多様性保全などの森林の公益的機能発揮にとどまらず、森林資源の有効利用、森林・林業の再生に向けた取組にまで連携・協力する分野を拡充させ、人と自然が共生する持続的社會の創造と発展、地域産業の活性化への貢献を目指しています。

特に、伐採と造林の一貫作業や、国産材型桝合板を用いた実証的作業などの技術開発や普及に関する具体的なテーマでの取組と学生による実習への国有林野の



中村農学部長と鈴木局長

フィールドの提供、大学演習林に隣接するフィールドの活用などの教育・研究活動への貢献を予定している点が、新たな特色となっています。

中村農学部長は調印式の挨拶の中で「大学の社会的責任が問われており、私たちとしても成果を地域社会と共有していきたい。安心して暮らせる活力ある持続可能な中山間地域の形成と再生に向けた取組を積極的に展開したい」と述べられました。

また、鈴木局長は「支援してもらいたい項目は多数ある。また、国有林には三つのアルプスをはじめ多様なフィールドがあり、森林・林業を担う学生たちの研究の場として活用してほしい」と挨拶されました。

各県で植樹祭が開催される 愛知県植樹祭

「愛知所」「エコ未来 つなげ緑のバトン



みどりの誓いの宣言の様子

パス」をテーマに、愛知県植樹祭が五月十一日（土）、豊川市制施行七十年を記念し豊川市総合体育館において盛大に開催されました。

式典で大村知事は二〇一四年十一月名古屋市内で開催予定のユネスコ世界会議や愛知県森林税などの話題に触れ、緑化意識を高め豊川市から緑の輪がさらに広がることを期待する」とあいさつ。山脇市長は「豊川市は山、川、海と豊かな自然に恵まれており、貴重な資源を次世代の子供たちに継承していこう」と呼びかけました。

緑化関係者表彰式では、緑化コンクールの入賞校、団体・個人功労者、緑化ボスター・標語などの入賞者がそれぞれ表彰されました。

最後に、市内小学校でつくる四つのみどりの少年団の代表が「緑豊か森づくり、まちづくりに参加し、緑を地球の財

産として将来へ引き継いでいきます」とみどりの誓いを宣言しました。
式典後に予定されていた記念植樹は雨で中止となりましたが、同時に開催された豊川市植樹祭は市代表者及び市民約三百五十名により行われました。

岐阜県みどりのまつり

【岐阜署】五月十七日（土）好天に恵まれ、岐阜県山県市大桑、四国山香りの森公園において、「未来へ続く恵みの森づくり」をキャッチフレーズに、山県市合併十周年記念イベントと併せ岐阜県・山県市等が主催する「第四十二回岐阜県みどりのまつり」が開催されました。

このイベントは、岐阜県内の各市町村を会場に毎年開催されてきたものであり、木の国・岐阜県を象徴する盛大な行



山元次長の記念植樹の様子

事となっています。

午前の記念植樹には、山元康則中部森林管理局次長が参加され、しだれ桜を地元山県市の小学生とともに和やかな会場の雰囲気の中なかで植樹をされました。

式典は、山県市立伊自良北小学校生徒徒約五十名による「伊自良十六拍子」（山県市重要無形民俗文化財）の唄や太鼓によるプロローグにより始まり、岐阜県内で活動する企業・団体による体験・展示コーナーでは、木のおもちやづくりや、杉材を使用した鍋敷き・コースターづくり、チェンソーアートの実演が行われ、飲食・販売コーナーで、地元の特産品である椎茸加工品、農産物の販売のほか、体験型など趣向を凝らしたブースが出展されました。



ゆるキャラとの記念撮影